

—— 安心の提供と震災からの早期復興のために ——

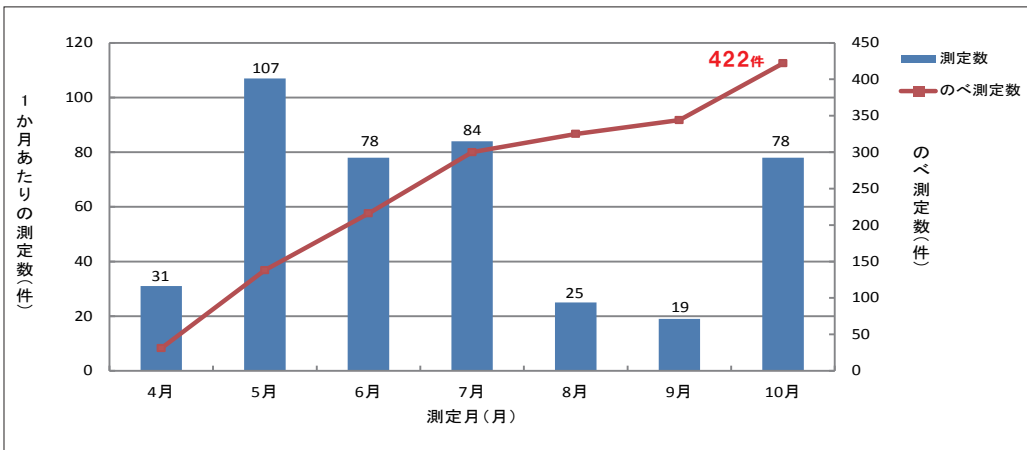
いわき地域復興センターは、「いわき明星大学と東日本国際大学」が連携して、いわき地域に対する震災復興活動を行う拠点として設立されました。「福島県いわき地域の大学連携による震災復興プロジェクト」をテーマとして、両大学が持ついわき地域の魅力の再生に直結する専門性を提供することで、震災からの早期復興を目指します。

- 【事業の4つの柱】
- I 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業
 - II 震災記録の保存事業
 - III 被災地の情報発信による観光まちづくり事業
 - IV 被災障がい者自立支援促進事業

開所から7ヶ月、目的別利用状況のご報告

今年4月23日の開所以来、これまでたくさんの方に当センターをご利用いただきました。今回は、ご利用目的別の利用状況をご報告致します。なお、内容には開所日から平成24年10月末日までのデータを使用しております。

♣いわき市食品放射能検査測定数(当センター受付分)の月別推移



当センターでは、いわき市の食品放射能検査実施場所の1つとして、これまでに422検体を検査して参りました。夏は作物の種類の関係で持ち込まれる数が減りましたが、秋になり再び検体数が増加しています。

♣作物・土壌セット放射能検査

当センターでは、土壌から作物への放射性セシウムの移行を調べるため、7月から独自に作物とそれを栽培した土壌をセットにした検査の受付を始めました。皆さまより4ヶ月間で34セットの検体をご提供いただき、いわき明星大学で研究に役立てております。

♣事業者の方からの放射能検査

当センターでは、これまでに15の事業者さまより80余りの検体をお預かりし、放射能検査を致しました。

♣ミニ相談会参加人数

毎月1回開催しているミニ相談会は、定員が10名という小規模な会ではございますが、これまでに5回、のべ42名の方々にご参加いただきました。今後は震災復興関連で放射能問題以外のテーマにも取り組んでいく予定しております。

テーマ	参加人数(定員10名)
第1回「これって安全!? 放射能測定結果からいわきの食の安全について知ろう」	9名
第2回「もっと知りたい! 内部被ばくと外部被ばくについて」	8名
第3回「親子で学ぼう! 放射能ってなんだろう?」	10名(うち子ども5名)
第4回「放射能測定を体験してみよう!!」	7名
第5回「知って得する! 放射能測定から見た作物栽培」	8名

利用者の皆さまからの声



作物・土壌セット放射能検査 をご利用いただいた方の声

夫婦二人暮らしなので、自家栽培した野菜は知人に配ることが多いのですが、原発事故が起こってから、人に野菜をあげて良いものが迷っていました。放射能検査を受けることで、気持ちの面で人に配りやすくなりました。



福島県立磐城農業高等学校 農場長 坂井 聖治さん(事業者の方の声)

消費者に理解してもらうためにも、しばらくは食品放射能検査は必要だと思います。なので、放射能の心配がなくなる時まで検査は続けていってほしいと思います。消費者に安全で正しい食品を提供するのは生産者の義務だと思っています。消費者の不安を払拭し、正しい食品ということを確認するためには、放射能検査は不可欠だと思います。



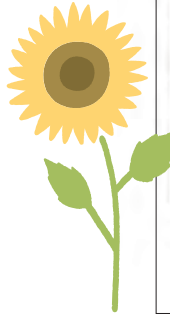
ミニ相談会に ご参加いただいた方の声

放射能と放射線の違いをはじめとした、基礎的な知識を学べて良かったです。また、生活の中で気をつけた方がよい点など、ミニ相談会で講師の先生に教えてもらったことを生活の中に取り入れて実践しています。

いわき地域復興センターでは、今後、放射能検査以外にも震災記録の保存事業や被災地の情報発信による観光まちづくり事業、被災障がい者自立支援促進事業などの拠点としても皆さまにご利用いただけるよう準備を進めております。当センターの活動内容につきましては随時情報発信して参ります。ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

第5回ミニ相談会 開催報告

いわき地域復興センターでは、皆さまからの放射能に対する疑問や不安にお応えするため、10月18日に「知って得する！ 放射能測定から見た作物栽培」をテーマとして、第5回ミニ相談会を開催しました。放射線測定室の紹介や、いわき市の食品放射能測定結果をはじめ、雨水・水道水・井戸水や土壌の放射能測定結果、栽培土の違いによるひまわりの放射能測定結果などをご紹介します。



ひまわり栽培土の違いによる放射能濃度測定結果

検体名	栽培土	検出限界濃度		
		Cs-134 (Bq/Kg)	Cs-137 (Bq/Kg)	合計 (Bq/Kg)
ひまわり葉	市販土	不検出 (5.87)	不検出 (5.68)	不検出 (11.55)
ひまわり茎	市販土	不検出 (6.16)	不検出 (6.65)	不検出 (12.81)
ひまわり葉	Cs濃度 5,000Bq/kg	29.9 (8.98)	54.9 (8.60)	84.8 (17.58)
ひまわり茎	Cs濃度 5,000Bq/kg	13.2 (8.16)	20.6 (8.03)	33.8 (16.19)

実験協力：双葉高校理科部
いわき明星大学 農業愛好会

移行係数

ひまわり葉 54.9/2930=0.0187
ひまわり茎 20.6/2930=0.0070

第1回 いわき地域復興センターフォーラムのお知らせ

このたび第1回いわき地域復興センターフォーラムを開催することとなりました。放射線に関する最新の知見やデータを発信するとともに、パネルディスカッションも行います。ぜひ皆さままでご参加ください。

テーマ：放射線に関する正しい知識を身につけよう

【日時】平成24年11月24日(土) 13:00～16:30

【場所】いわき明星大学 AV大講義室

【参加費】無料

【申込方法】はがきかFAX、またはE-mailに氏名(ふりがな)・年齢・性別

電話番号をご記入の上、下記宛にお送り下さい。

〒970-8551 いわき市中央台飯野5-5-1

FAX 0246-29-7846 E-mail chiiki@iwakimu.ac.jp

【内容】① 基調講演 演題：放射線と健康影響について

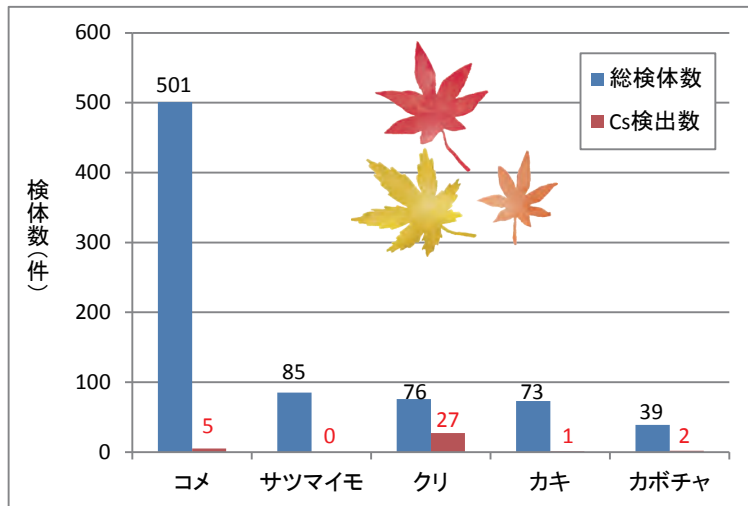
② 放射能問題に対するいわき明星大学の取組について

③ パネリスト5名によるパネルディスカッション

テーマ：福島における放射能問題の現状と今後の見通し

秋の作物 放射能検査結果

秋も深まり、この季節ならではの作物が食品放射能検査に登場するようになって参りました。そこで今回は、そんな中から特に受付数の多かった作物をピックアップして放射性セシウムの検出度合をグラフに表してみました。尚、集計には9月3日～10月31日に測定されたいわき市全体の検査結果を使用しております。



※Cs=放射性セシウム134と放射性セシウム137

※Cs 検出数とは、放射性Cs濃度が20Bq/kg以上あったもの数

文部科学省
平成23年度大学等における
地域復興のためのセンター的機能整備事業

いわき地域復興センター

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾74-8

Tel.0246-38-7132 Fax.0246-38-7134

URL <http://www.revive-iwaki.net/>



● 過去の情報やセンターの詳しい活動内容はHPをご覧ください。 ●